

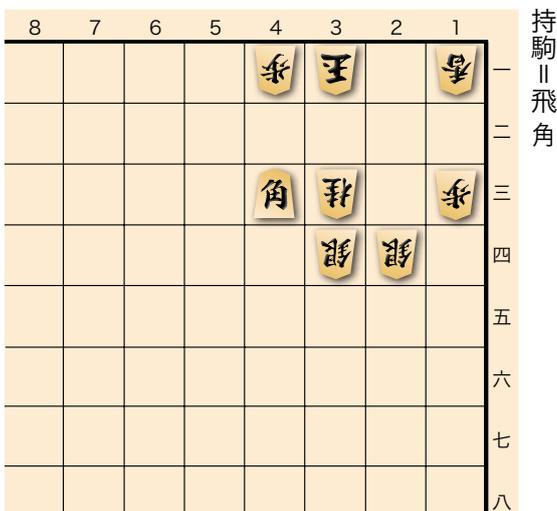
次の一手

答え合わせ

〈第23局〉

詰将棋 問題 7手詰 (5分で3~4級)

ヒント 飛車は捨て駒



〈監修〉中田功八段

詰将棋 答え

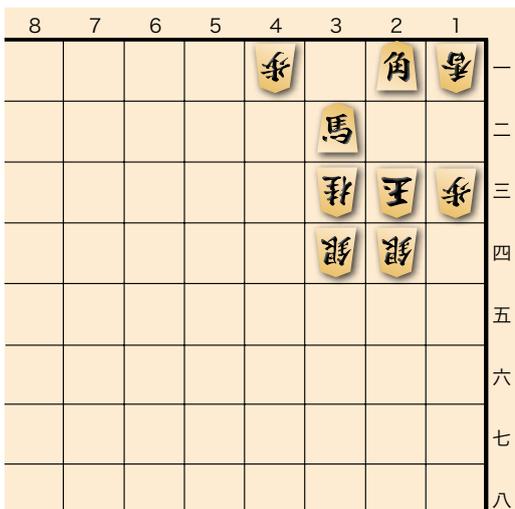
▲3 二飛▽2 一玉▲1 二飛成▽同玉▲2 一角打
▽2 三玉▲3 二角行成までの7手詰め

中田 功 (なかた・いさお)

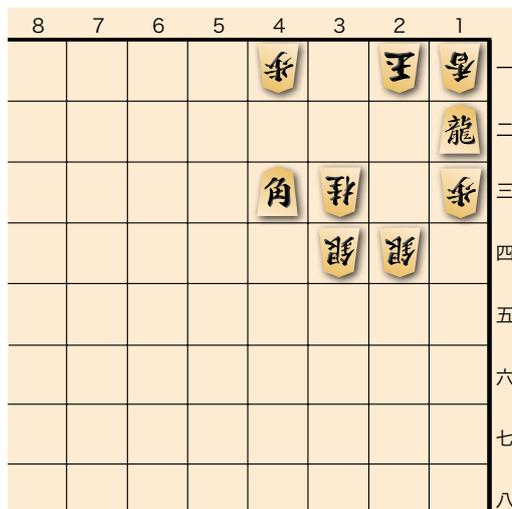
1967年7月27日生まれ。福岡市出身。
第5回中学生名人戦優勝。80年、師匠(故)大山康晴15世名人門下として奨励会六級、83年初段、86年4月四段、90年3月五段、98年8月六段、2005年10月七段、11年現役勤続25年表彰、19年八段。弟子に佐藤天彦名人。人生の指針となる言葉「一期一会」。



詰め上がり図



途中図 (▲1 二飛成まで)

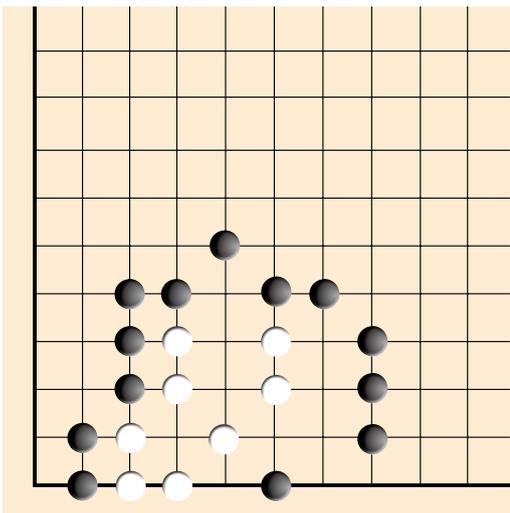


(解説) ▲1 二飛成が鮮烈な一手。両王手のため▽同玉と取るしかなく▲2 一角打を実現する。

詰碁 問題 白先白活 (10分で初段)

ヒント

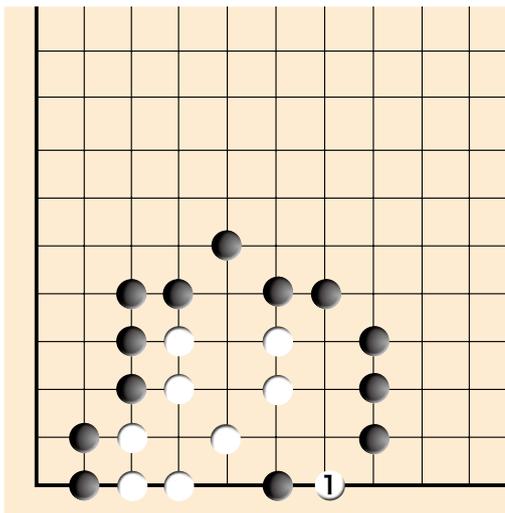
ピンチです!下辺は放置ればカケ眼、上もまだ半眼。ハイスピードで二眼の活きにして下さい。黒ゲイマの攻めをシャットする緊急の捨石を!



〈監修〉大淵盛人九段

詰碁 正解図①

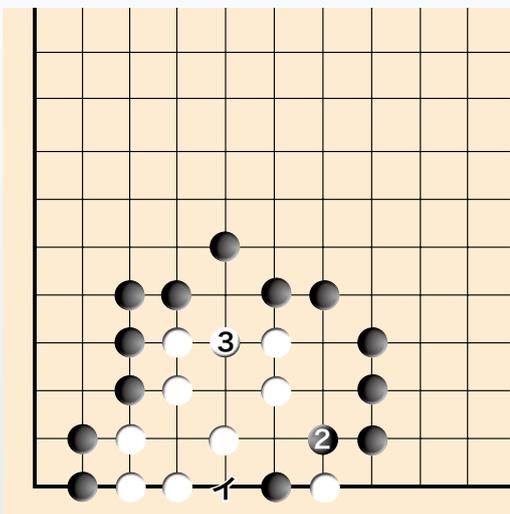
緊急手段の白1



白1のツケが妙手です。(この手以外では活きません)黒は愕然とするでしょう。ここで一旦、深呼吸…。

詰碁 正解図②

なんにもしない良手…白3で二眼の活き



黒が2と打ちました。そこで、下辺はもう何もせず、白3が良い手です。緊急の捨石が利いて黒はイの点に打てず二眼完成。

大淵 盛人 (おおぶち・もりと)

1965年8月10日生まれ。福岡県柳川市出身。

中1で碁を覚え、1981年4月上京、大枝雄介八段(当時)に入門を許され約8年内弟子修行を経験する。83年入段、97年九段。棋士養成機関で師範を長年担当。日本棋院常務理事。門下生に内田修平七段、奥田あや三段他。

人生の指針となる言葉「サムエル・ウルマンの『青春』」。

